

Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

企業調査レポート
株式会社フィスコ

■ 多彩な業態と受託事業を併せ持つ 「優良な事業ポートフォリオ」

サントリーグループの中で、飲食店の経営を展開する。主力のバー・レストラン事業（2012年12月期の売上高比率は90.8%）では、ダイニングバーやパブ&レストラン、居酒屋など多様な業態を手掛けている。

競争環境の激しい飲食業界において、同社は「優良な事業ポートフォリオ」「信用力とブランド力」「業容拡大力・出店力」の3つの強みを活かして成長を図っている。巨大な外食市場において、多彩な業態と受託事業を併せ持つ「優良な事業ポートフォリオ」が同社の最大の強みとなる。

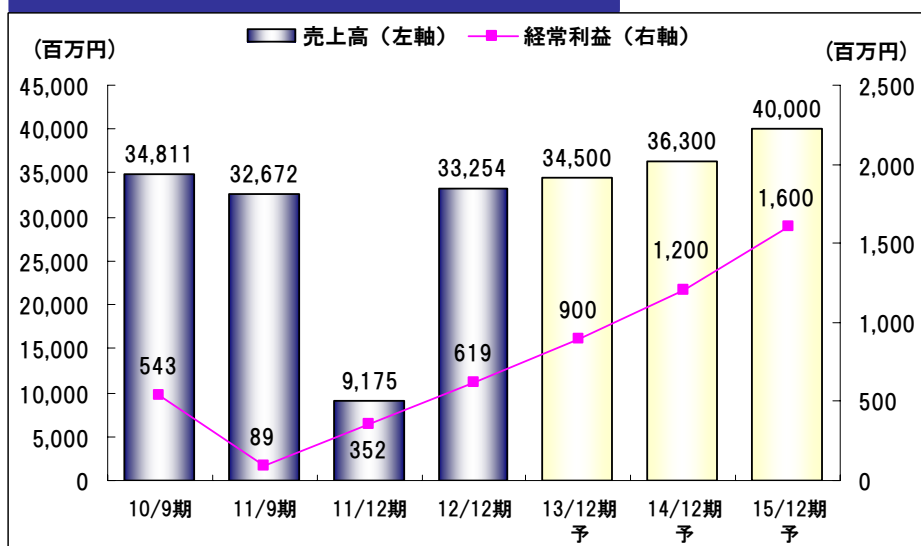
2013年12月期業績は、売上高が前期比3.7%増の34,500百万円、営業利益が同54.9%増の940百万円、経常利益が同45.3%増の900百万円、当期純利益が同43.4%増の270百万円を計画している。足元では、飲食業界で最も重要であるシフトコントロールの徹底などが奏功し、売上総利益、売上総利益率が上昇するなど、損益面は大きく改善傾向となっている。

今後の取り組みとしては、「優良な事業ポートフォリオ」を活用して、直営ビジネスにおいては付加価値の高い分野の業容拡大、店舗数の拡大を目指す方針。また、蓄積されたノウハウや豊富な実績を活かしながら、受託ビジネスも拡大する。これらの取り組みを実施することで、2015年12月期までの中期経営計画で示している売上高40,000百万円、経常利益1,600百万円、経常利益率4.0%の達成を目指す。

■ Check Point

- ・バー・レストラン事業を主力にケータリング、運営受託を展開
- ・上期オープンの新店は好調、下期業績の押し上げ要因として期待
- ・今後は高付加価値の小型業態を都心近郊エリアなどへ出店

通期業績の推移と中期経営計画



※11/12期から12月に決算期を変更、11/12期は10-12月の3ヶ月決算

■会社概要

バー・レストラン事業を主力に運営受託、ケータリングを展開

サントリーグループの中で、飲食店の経営を展開する。主な事業は、バー・レストラン事業、ゴルフ&リゾートレストランサービス、コントラクトサービス、ケータリングサービスとなる。

主力のバー・レストラン事業（2012年12月期の売上高比率は90.8%）では、ダイニングバーやパブ&レストラン、居酒屋など多様な業態を手掛けている。具体的には、ダイニングバー「響」、海鮮酒場「魚盛」、本格イタリア料理店「パピミラノ」などを展開する。また、サントリーグループの外食企業であるプロントとフランチャイズ（FC）契約を結び、4月からプロントをFCとして出店している。なお、2013年6月末時点の店舗数は244（前期末比3店舗の増加）。

ケータリングサービス（同2.5%）では、企業の各種式典や竣工披露宴・祝賀会など、小規模から数千人規模のイベント・パーティにおいて、企画の提案から設営・運営のコーディネートまでをトータルプロデュースしている点が特徴となる。また、その他の事業に分類されるゴルフ&リゾートレストランサービスでは、ゴルフ場やテーマパークなどの様々なリゾート施設で大規模レストランの開発・運営を行っているほか、コントラクトサービスでは、文化施設や高速道路サービスエリア内のレストラン運営などを展開している。

事業内容

バー・レストラン

都心部飲食店経営

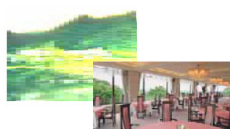
多彩で多様な約50業態、
東西約150店舗の都心飲食店の経営



出所：会社資料より引用

ゴルフ場レストラン運営

実績と信頼による全国66ヶ所の
ゴルフ場レストラン受託



コントラクト（運営受託）

文化施設をはじめ、レジャー施設・
高速道路SA・道の駅内レストランなどで
質の高い美味しさとサービスを提供



パーティー・ケータリング

「食」の演出を武器に
プライベートから大規模イベントまで
トータルプロデュース



■同社の強み

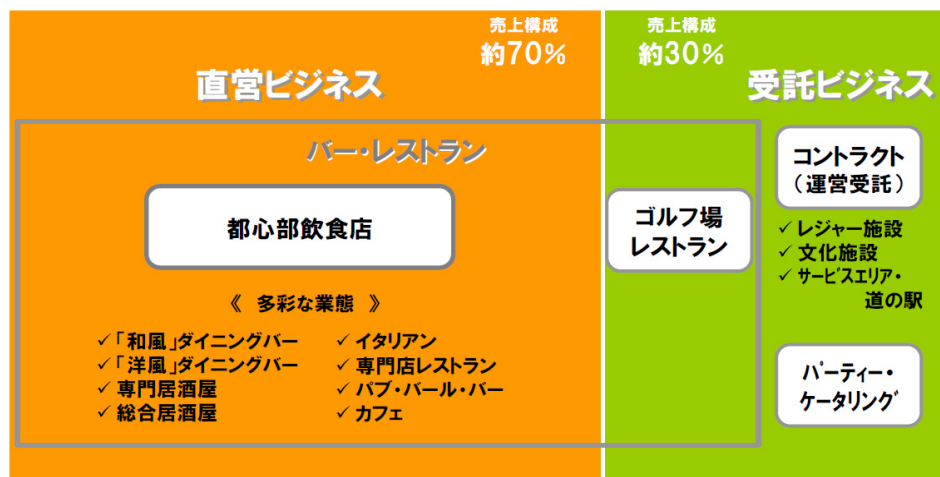
幅広い分野で400人の調理人を抱える「職人集団」

競争環境の激しい飲食業界において、同社は、「優良な事業ポートフォリオ」「信用力とブランド力」「業容拡大力・出店力」の3つの強みを活かして成長を図っている。

■ 同社の強み

同社の事業ポートフォリオは、売上高の約7割を占める直営ビジネス（都心部飲食店）、同3割の受託ビジネス（ゴルフ場レストランなど）に区分される。巨大な外食市場において、多彩な業態と受託事業を併せ持つ「優良な事業ポートフォリオ」が同社の最大の強みとなる。また、和食から洋食、イタリアン、パティシエなど、幅広い分野で400人もの調理人を抱えており、「職人集団」であることが他社との差別化を図る大きな要因ともなっている。その他、サントリーグループの一員であるため、飲用時品質、ドリンク品質が非常に高く、飲み方提案力に優れている点なども注目されよう。「優良な事業ポートフォリオ」を背景として、おいしい料理と最高のドリンクを軸に高付加価値空間の提供を行う「信用力とブランド力」、それに伴う「業容拡大力・出店力」を武器に、今後も事業の拡大を目指す方針である。

「優良な事業ポートフォリオ」



出所：会社資料より引用

■ 業績動向

上期オープンの新店は好調、下期の押し上げ要因として期待

2013年12月期業績は、売上高が前期比3.7%増の34,500百万円、営業利益が同54.9%増の940百万円、経常利益が同45.3%増の900百万円、当期純利益が同43.4%増の270百万円が計画されている。

8月2日に発表された上期業績は、売上高が前年同期比0.8%減の15,899百万円、営業損益が48百万円の黒字（前年同期は55百万円の赤字）、経常損益が37百万円の黒字（前年同期は45百万円の赤字）、当期純損益が58百万円の赤字（前年同期は109百万円の赤字）となった。売上高は期初計画をやや下回ったものの、飲食業界で最も重要であるシフトコントロールの徹底などが奏功し、売上総利益が8.1%、売上総利益率が0.9ポイント上昇するなど、損益面は大きく改善傾向となっている。

■業績動向

上期の新規出店については、9店舗と計画通りに推移している。上期にオープンした新店は好調で、下期の業績押し上げ要因として期待される。また、常連客づくりのために導入している「倶楽部ダイナック」の実動会員数は20万人を突破したほか、利用売上高は約70億円（夜間の売上高の約4割）と拡大が続いており、リピーターの増加が売上高の下支え要因になるともみられる。なお、同社は居酒屋業態などを展開するため、忘年会シーズンなどが重なる第4四半期（10-12月期）に収益が偏る季節性がある。

2013年12月期の第2四半期業績

(単位：百万円)

| | 12/12期 2Q | 13/12期 2Q | 前年同期比 |
|-----------|--------------|--------------|-------|
| 売上高 | 16,033 | 15,899 | -0.8% |
| 売上原価 | 14,387 | 14,119 | -1.9% |
| 売上総利益 | 1,646 | 1,779 | 8.1% |
| 販売管理費 | 1,701 | 1,731 | 1.8% |
| 営業利益 | -55 | 48 | - |
| 営業外収支 | 9 | -11 | - |
| 経常利益 | -45 | 37 | - |
| 特別損益 | -32 | -69 | - |
| 税引前四半期純利益 | -78 | -31 | - |
| 四半期純利益 | -109 | -58 | - |

2013年12月期の業績予想

(単位：百万円)

| | 12/12期 | 13/12期予 | 前期比 |
|---------|--------|---------|-------|
| 売上高 | 33,254 | 34,500 | 3.7% |
| 営業利益 | 606 | 940 | 54.9% |
| 経常利益 | 619 | 900 | 45.3% |
| 当期純利益 | 188 | 270 | 43.4% |
| EPS (円) | 26.78 | 38.39 | - |

■今後の取り組みと中期経営計画

■ 今後は高付加価値の小型業態を都心近郊エリアなどへ出店

今後の取り組みとしては、前述の「優良な事業ポートフォリオ」を活用して、直営ビジネスにおいては付加価値の高い分野の業容拡大、店舗数の拡大を目指す方針である。同社はこれまで都心4区などを中心に店舗を展開してきたが、今後は高付加価値の小型業態を同地域にこだわらず、都心近郊エリアなどへ出店する予定。同時に、受託ビジネスを拡大させる計画で、蓄積されたノウハウや豊富な実績を活かしながら、ゴルフ場レストランやサービスエリア・道の駅などにおける業容を拡大していく。これらの取り組みを実施することで、2015年12月期までの中期経営計画で示している売上高40,000百万円、経常利益1,600百万円、経常利益率4.0%の達成を目指す。

ディスクレマー（免責条項）

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社大阪証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との面会を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ